

# こばと

守口市民生委員児童委員協議会  
編集 広報・調査部会

守口市寺内町1-16-5  
守口市社会福祉協議会内  
〒570-0056 電話 6992-2715



第67号

賀川豊彦記念館



賀川豊彦  
(1888~1960年)



賀川豊彦記念館外観

「愛は私の一切である」  
愛をもつて労働運動、普通選挙運動、農民運動のほか、「運動

動と名のつく運動」を始めた人です。

賀川氏は、明治21年神戸に生まれました。4歳で両親を亡くし、父の家があつた鳴門市大麻町に引き取られます。孤独、家の破産、病苦等、多くの困難を乗り越え、神戸神学校の学生だった21歳の時、神戸のスラムに入り、救済活動を行いました。

その後、自伝的小説

「死線を超えて」がベストセラーになります。大正

12年の関東大震災では、船に救援物資を積み込んで、いち早く神戸から被災地に駆けつけました。

私財も印税も投げうつて、夫妻で多くの人々の救済にあたりました。

戦後は、戦争のない世界平和を求めて、世界連邦国家建設運動、核兵器廃絶、憲法擁護運動を行い、ガンジー・シャバイツァーと並んで世界の三大偉人と呼ばれています。

## 管外研修 鳴門市賀川豊彦記念館・ドイツ館を訪ねて

平成27年11月12・13日

ノーベル平和賞に推薦されましたが、惜しくも亡くなってしまったわれたため、受賞は出来ませんでした。「受賞されておられたら、もっと多くの人に知つてもらえたのに」と説明していたいた記念館の藤田進さんは残念

がつておられました。展示室に掲げられた、平和を象徴する鳩と空と海のステンドグラスが印象的でした。

ドイツ館



虜たちの人権を尊重し、上層部から寛大過ぎると非難されながらも彼らの自主的な生活を認めました。

ベートーヴェンの交響曲第9番を日本で初めて全楽章演奏したことは有名です。

地域の人たちは、牧畜、製菓、印刷、橋造り、音楽、スポーツ等を教えてもらいました。ここで亡くなつた人のお墓を地域の人が守り続けていたことから今もドイツとの交流は続いています。



清き優しきますらおの  
いさかた  
二方の

第1次世界大戦期の鳴門市・板東俘虜収容所の松江豊寿所長は、元会津藩士で戊辰戦争に敗れた人でした。祖国のために戦った者に勝者も敗者もないとドイツ人俘

## 地区活動紹介

### 八雲地区

#### もちつき大会



「しっかりつけたよ！」

1月17日、八雲小学校でもちつき大会を開催しました。今年は耐震工事のため場所が非常に狭くなり、「どんどう」が中止になつたので、楽しみにしていた人は残念がつておられました。

参加人数は例年より少なかつたのですが、子どもたちはきな粉もちを食べてとても喜んでいました。若い人たちの中には、もちつきを知らなかった人もいました。

今後、地域の人が多く参加してコミュニティの場になればよいと思っています。また、そ

うなるように啓発していくことも大切だと思っています。

澤田 弘三



「おいしいね」と楽しい1日

1月22日、庭窪公民館金田分室にて「初笑いふれあい」教室を行いました。とても寒い日にもかかわらず50名の参加があり、虫食い川柳ゲーム、ビンゴゲームと大いに笑い大盛況でした。

手作りぜんざいも食べていただき、とても楽しく一日を過ごすことが出来ました。

小倉みゆき

### 金田地区

#### 「初笑いふれあい」教室

2月20日、大阪国際大学にて防災イベントが開催され、学生、近隣地域住民、福祉委員、民生・児童委員223名が参加しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、開会式の後、スポーツ行動学准教授でプレッパー部顧問の西岡ゆかり先生に「地震への備え まず、自助・共助」と題して、具体的で分かりやすいお話をしてくださいました。



熱心に聴き入る参加者

『大阪国際大学地域協働センター防災イベント』  
「災害避難所の模擬体験と情報収集のつどい」  
報の集いの報告～

## 東地区



避難行動要支援者の安否確認訓練の様子

午後からは、避難行動要支援者の安否確認・避難誘導訓練のほか、災害ボランティアセンターの運営シミュレーションを行いました。

また、段ボールのトイレ、牛乳パックの椅子、新聞紙のスリップ作り等を体験学習し、災害に備えて真剣に取り組みました。

河野順子

昼食の時間には、アルファ化米や豚汁による炊き出しに加え、昆虫食の試食体験もありました。おいしく味付けされていたので、想像していた以上に食べられることを実感しました。

地域のAさんから隣に住むBさん（70歳代・女性）のことで相談したいとの電話があり、早速伺いました。

### 事例 ファイル②

「Bさんがここ数週間、夜中にドアや壁を叩いて大騒ぎするので寝ることが出来ず、何とかなりませんか」とのことでした。

市に相談に行つたところ、「Bさんは一人暮らしですが、市外に息子さんがいる」ということが分かり、「この場合、まずは親族に連絡をつけることです」という回答でした。

このような事例の場合、社協や地域包括支援センターのような相談支援の専門職等と連携することが考えられます。

Bさんが介護保険のサービスを利用していれば担当ケアマネジャー、生活保護の受給者であれば担当ケータスワーカー等も加わって問題解決に向けたケース会議を行うこともその連携の一例です。

# 部会活動報告

生活福祉 障がい・高齢者福祉部会  
合同施設見学

つ、最後に大石酒造の芳醇な香りに包まれて帰路につきました。

稟原 典子

児童福祉 広報・調査部会  
合同施設見学

されていました。  
織維産業が盛んな泉州、中でもタオル生産発祥の地であることはあまり知られていません。

りんくうプレミアムアウトレット内の泉州タオル館では、高品質のタオルが並んでいました。

最後に、泉佐野漁協が運営する青空市場に立ち寄り、盛りだくさんの研修は無事終了となりました。

奥山 寿一

都方面へ研修に行きました。最初に、伏見区にある「京エコロジーセンター」で温暖化防止やゴミ減量等、地球と私たちとの関わりを再認識すべき環境講習を受け、施設を見学しました。

その後、大きな水害から立ち



京エコロジーセンターを見学



愛彩ランドでお買い物

9月29日、今年度の合同施設見学として泉州方面の地場産業施設を訪れました。

初めに向かったのは岸和田の道の駅「愛彩ランド」。午前10時のオープン前には農産物直売所の前に長蛇の列が…。館内には新鮮な野菜や果物、加工食品が所狭しと並び、目移りするほど



出来上がった作品

2月23日、生活福祉部会・文化教室として、講師・春日地区杉本一子委員の指導のもと、畳の縁を使って、「ベンケース、カーペット」

生活福祉部会・文化教室



講師の水野和代氏

2月24日、特定非営利活動法人ななクラブの管理栄養士・水野和代氏を招き、「老化の原因・低栄養の怖さを知ろう」をテーマに研修を行いました。

加齢による環境の変化や様々な身体機能の衰え、年をとると、わずかなきつかけで低栄養状態に陥ります。

そして、低栄養状態が続くと様々な病気にかかりやすくなったり、病気の回復が遅れ、やがて寝たきりの状態を招くことがあります。

日ごろからいろいろな食べ物

をしつかりバランスよく食べるこ

との大切さを学びました。

前川 淳子

3月8日、「発達障がいのある児童・児童とその家族の支援」について、守口市こども部子育て支援課の田中美由起氏、わかくさ・わかすぎ園 村川敦子氏、富田正子氏を講師に研修を行いました。

参加者は真剣に耳を傾け、質問もたくさん出ました。私たちも知っているようで知らないことが多々あつたと思います。

「好意的態度で接し、今思つていることを分かりやすい表情、言葉で伝える」「話を肯定的に聞き、相手の感覚・感情は否定しない」。

一番大事なことは、本人の意思を尊重することだと思います。

瀧川 博之



支援についてアドバイスをいただきました

## 児童福祉部会研修会

10月9日、大阪府警本部 生活安全部少年課・枚方市少年サポートセンターの田中良典警部補に来ていただき、「青少年が携帯電話によって犯罪に巻き込まれる危険性とその予防」について話を伺いました。



青少年が巻き込まれる危険性とその予防について

平成23年5月から始まった

「こんには赤ちゃん訪問運動」

は5年経過し、守口市民児協の活動として定着してきたことを大変うれしく思います。

当初は、訪問する家庭に電話連絡しても、なかなか出てもらえなかつたり、男性の主任児童委員だと不審がられたり、苦労した面もありました。訪問依頼件数は、平成23年度の219件から年々増加し、平成27年度は283件でした。

私たち19名の主任児童委員は、地区民生委員とお互い協力し合い、若い子育て中のお母さんや子どもたちに寄り添つて、関係機関とのパイプ役として務めていきたいと思います。

スマートフォンなど、携帯電話はとても便利である一方、子どもたちが事件に巻き込まれるケースは、年々想像を超えるスピードで深刻化しています。

Eも使い方さえ間違えなければ、とても良いソフトだと田中警部補もおっしゃっていました。

分からぬで拒否するのではなく、ルールやマナーを守り、子どもたちが被害者にならないよう、私たちも関心を持つて、危険な目に合わないための使い方を知ることが必要だと思いました。



萩原 朋子

## 社協・民児協合同人権研修

3月4日、市民保健センターにて、大阪府部落解放人権大学助言者の部谷佳昭氏を講師に

伊藤 和代

4月22日の民児協4月定例会時に、熊本地震に対する義援金が10万9165円集まり、日本赤十字社大阪府支部を通じて、被災地へ寄付しました。

澤田 弘二

受賞者の皆様おめでとうございます  
平成27年度表彰  
永年勤続民・児童委員表彰  
府社協(食表彰)  
功労表彰

春日地区 杉本 一子  
南地区 西田 公子  
永年勤続表彰

橋波地区 藤田 富美子  
(敬称略)

こんには赤ちゃん訪問運動

人権研修がありました。  
「民族・芸能の起源とその役割」をテーマとした講義を通して、誰人でも生きる権利があることを感じました。



芸能文化の歴史を知る

**マイナンバー犯罪・詐欺被害に注意!!**

9?1?0?1?2?8

マイナンバー制度の導入に伴い、昨年通知カードの配付がありました。全国で高齢者等を狙つた「詐欺被害」が発生しているので、ご注意ください。

手口は、高齢者宅を訪れ、「マイナンバーカードにはお金がかかる」と言って現金をだまし取るといったもの等です。

特に大阪府内では、市役所や税務署の役人を装い、銀行

新しい制度が導入されると、それに便乗した「犯罪」も同時に発生してきます。被害を未然に防ぐために、地域においても目を光らせることが重要です。

## 編集記後

白昼、梅田の暴走事故は衝撃でした。原因は大動脈解離という病気で、誰にでも発症する可能性があるとの発表に恐怖感に襲われました。

医学や工学の技術を結集し、運転手の異常も検知する、次世代の自動停車システムの早期完成を願います。

「旬の話題」、「役立つ広報づくり」を目指して、楽しみながら委員一同頑張りたいと思います。

酒井 那智子